

事業所名

Kidsさぽーとあかつき(児童発達支援)

支援プログラム(参考様式)

作成日

2025年

3月

15日

法人(事業所)理念	全ての障がいのある児童や医療的ケアが必要な児童が、人として豊かに生活できるようにその権利擁護に努めるとともに、生き生きと暮らせる共生社会の実現を目指して福祉サービスの充実と活性化を図ります。				
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、集団生活に適應することができるよう、当該利用児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。 発達段階に応じてスモールステップで課題を提供し、達成感や満足感を得ることで、全体的な成長を促します。 				
営業時間	9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	食事、排泄、衣服の着脱、準備、片付けなど日常生活に必要な動作を習得するためのサポート。生活習慣や生活リズムの形成をしていき、できることを増やしていく。			
	運動・感覚	粗大運動(ボール、風船遊び、ブランコ、マット、トランポリン、ストレッチ、公園遊びなど)・微細運動(シール貼り、洗濯ばさみ、ひも通し、パズル、粘土、お絵描き、ぬり絵、お箸など)を通して、五感を刺激し、体の使い方や体力の向上、手や指先の巧緻性を養う。			
	認知・行動	散歩に出掛けることで季節の移り変わりなどさまざまな変化を自ら体感することにより環境の変化を把握、理解していく。 制作活動などを通して物の形や色、重さなどの感覚を養う。 自分に入ってくる情報の処理、場面の切り替えなど認知機能の発達を促していく。			
	言語 コミュニケーション	さまざまな年齢や特性の児童との関わり、同一法人内の老人デイとの交流、遊びや活動などの経験から言語の受容・表出、コミュニケーション手段の獲得・選択などコミュニケーション面を学んでいく。			
	人間関係 社会性	他者との関わり、遊び、外出、その他のレクなどから集団への参加の手順や社会のルール、最低限のマナーを身に付けていく。自己理解や行動の調整を促し支援していく。			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達や困りごとなど悩みを共有し、保護者の心理的不安の軽減と療育に関する専門的知見からの助言・指導。 連絡帳アプリを使い、毎日の写真を提供することにより、同居していない家族に対する興味関心の促進。 	移行支援	入園、就学、進級、進学、就労など環境の変化に伴い、関係機関との情報共有、必要に応じて訪問等の連携。		
地域支援・地域連携	地域における他事業所との情報共有・連携、業種を越えての交流会などへ参加し、地域との連携を深める。	職員の質の向上	月1回の社内研修・ミーティングにて、情報共有、意見交換を実施及び外部研修会へ参加し、専門的な知識の習得・理解を深め、スキルアップを図る。		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び、ハロウィン、クリスマス、初詣など 季節の行事の制作活動 同一法人内介護施設との交流会(年3~4回) 長期休暇…お出かけ、クッキングなど 				